

2025年度 調査研究事業報告

経営企画部 企画調査課

business report 2025

1. はじめに

建材試験センターでは、官公庁・自治体や民間企業・団体等からの依頼を受け、政策の普及促進や国内外の標準化活動、技術開発を支援する試験・評価方法の開発等を目的とした調査研究を実施している。これらの調査研究のテーマはその時々々の社会ニーズに対応して設定されることが多く、近年では「省エネルギー」、「地球温暖化対策」、「居住環境の安全・安心」といった分野を中心に、試験・評価方法の開発・整備を進めている。

本稿では、2025年度に実施した調査研究について、その概要を報告する。

2. リフォーム等における適切なアスベスト処理のための調査/「石綿(アスベスト)含有建材データベース」の維持管理及び運営に関する検討事業

2.1 概要

「石綿(アスベスト)含有建材データベース」(以下、「データベース」という。https://asbestos-database.jp/)は、建設事業者、解体事業者、住宅・建築物所有者等が、解体、改修及びリフォーム対象の建築物に使用されている建材の石綿(アスベスト)含有状況を調査する際に、必要な情報を簡易に収集できるように構築された情報提供サイトである。このデータベースは、国土交通省及び経済産業省の下で構築され、2006年12月の公開以降、関係者による情報提供と更新作業を経て発展してきた。

本事業では、2,151件の建材情報が登録されているデータベースについて、基盤となる維持管理に加え、適切な情報提供及び利用者の利便性向上を目的とした改善・検討を実施した。

なお、本事業は、国土交通省の補助事業として一般社団法人住宅リフォーム推進協議会が実施しており、当センターは同協議会より受託している。例年同様、行政機関・学識者・建設関連団体・建材関係団体・調査診断関係機関から構成されるデータベース運営委員会を設置し、委員からの助言を得ながら事業を実施した。

2.2 成果

今年度の主な実施項目は、次のとおりである。

①データベースの維持管理

データベースの登録情報の追加及び修正依頼への対応を行い、情報の正確性の確保に努めた。また、ウェブサイトの不具合を修正すると共に、今後の対応方針を整理した。さらに、データベース登録情報の「相談窓口」に掲載している連絡先の現況調査を実施した。加えて、「ご利用上の注意」の内容を更新するとともに、これに伴う内部データ管理強化のためのウェブサイト改修を実施した。

②データベースの登録情報の追加に関する検討の継続

例年と同様、データベースへの情報登録に関する検討体制を維持し、継続的な改善の基盤を確保した。

③データベースの利用に関する調査

2024年度に実施した住宅リフォーム事業者へのWebアンケート調査結果を分析し、利用者が求める情報の表示方法や検索性に関する改善点を整理した。その結果を踏まえ、ウェブサイトの一部改修を行い、利用者の利便性向上に資する改善を実施した。

2.3 今後の計画・取り組み

2026年度以降は、今年度着手した「相談窓口」の連絡先現況調査等を進めていく予定である。

データベースの維持管理にあたっては、運営委員会をはじめ、建材メーカー及び関係団体からのご協力が不可欠である。情報提供や更新対応にご協力いただいている関係各位に深く感謝申し上げます。

author

吉田仁美 経営企画部 企画調査課 主幹